

令和 6 年度 武蔵野市自然環境等実態調査結果について（概要）

1 調査の目的

本調査は、現行の緑の基本計画2019の改定やその他の緑化施策検討の際の資料とするため、航空写真を用いて、市域の緑被状況等を把握することを目的として実施した。

2 調査範囲

武蔵野市全域1,098ha

3 調査委託期間

令和 6 年 7 月 2 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

航空写真撮影：令和 6 年 8 月

4 調査内容（令和 6 年度分）

緑被調査、樹木調査、緑視率調査及び市民意識調査を実施した。また、前回調査項目に加え、地表面温度マップの作成等を行い、緑の現況を多面的に把握した。

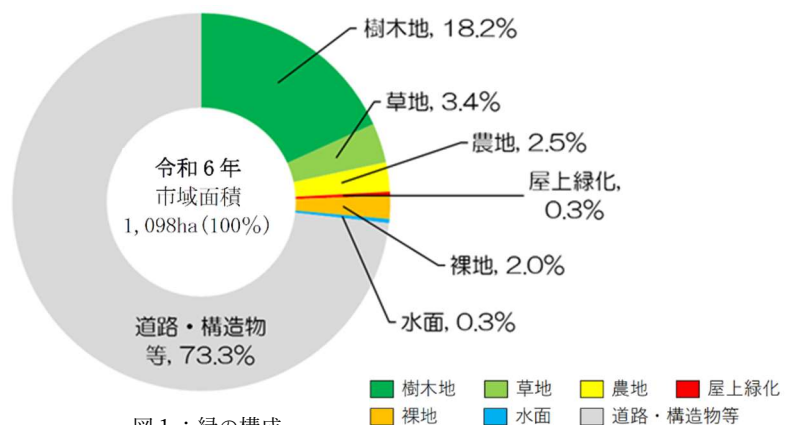
5 主な調査結果

(1) 緑被率

令和 6 年の緑被地面積は 267.70ha、緑被率は 24.4%で、市域面積 1,098ha の約 4 分の 1 を占めている。

(2) 緑の構成

緑の多くは、公園や敷地内の植え込み等の樹木地（200.28ha）であり、市の面積に対し 18.2%を占めている（図 1 参照）。



(3) 緑被率の推移

緑の実態調査を開始した昭和47年から平成6年まで緑被率は減少の一途をたどっており、この間で100haを超える量の緑が消失した。平成6年以降の調査においては、横ばいとなっている（図2参照）。

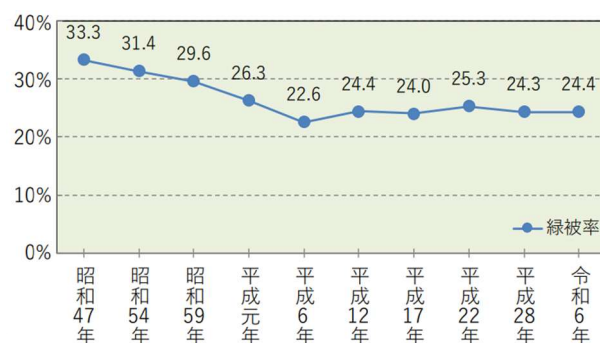


図2：緑被率の推移

(4) 民有地の緑と公有地の緑の推移

緑被地のうち、約6割の緑が民有地にあり、市内の緑の多くは、民有地に依存している状況が見られる。しかし、民有地の緑は平成元年調査で73.7%であったものが、その後年々減少し、平成22年調査では60.7%となり、それ以降は、60%前後で推移している（図3参照）。緑被地面積については、平成元年から令和6年までに公有地の緑は28.67ha増加し、民有地の緑は51.19ha減少した（図4参照）。

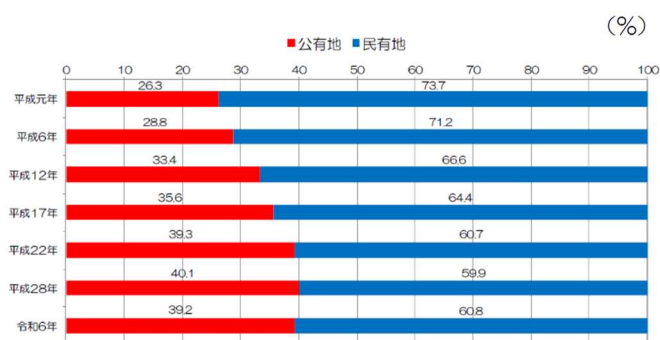


図3：民有地の緑と公有地の緑（割合）

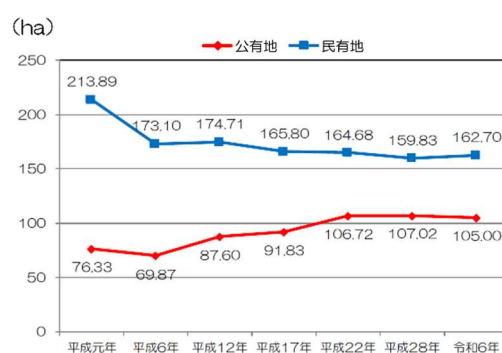


図4：民有地の緑と公有地の緑（面積の推移）

6 今後の予定

令和7年5月末

令和6年度調査報告書の公表

令和7年4月から令和8年3月末まで

接道部緑化調査等の実施

令和8年3月末

武蔵野市のみどり 武蔵野市自然環境等実態調査報告書概要版 発行予定

担当課 環境部 緑のまち推進課